

# 北海道の印刷

# 11

第822号

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

2024年11月10日発行



北の大地の水族館・滝つぼ水槽（北見市留辺蘂町）

## CONTENTS

- 3 令和6年度第5回理事会が開催される
- 4~5 2024全印工連フォーラムIN大阪が開催される
- 6~7 全印工連「印カレ」のご紹介
- 8 第18回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション作品募集のご案内
- 9 ミニさっぽろ2024に「町の印刷屋さん」を出展
- 9 北海道印刷関連業協議会令和7年新年交礼会のご案内
- 10 中小企業省力化投資補助金のご案内



## 北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル  
TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

# 下期事業スケジュール・ 新春経営者研修会テーマを決定

令和6年度第5回理事会開催される

令和6年度第5回理事会が、10月11日午後1時30分から、札幌市中央区の札幌パークホテルで、理事10人と監事2人が出席して開催され、下期事業スケジュール、新春経営者研修会のテーマなどを決定した。

理事会は、定数報告の後、岸理事長を議長に議事が行われた。

最初に報告事項として、

(1)事業実施状況について、6月の第4回理事会以降の事業実施状況を北印工組、全印工連・関連団体に大別して説明された。

(2)財務状況について、第2四半期（9月末）の中間決算について、貸借対照表、損益計算書、予算対比表、賦課金納入状況について説明された。

また、10月10日に細木・加藤監事に中間監査を実施いただき内容は適切であった旨の監査意見をいただいたことが説明された。

(3)HOPE2024の開催結果について、9月4日・5日の両日にアクセスサポートを会場に開催され、展示会に40社68小間が出展し、7セッションのセミナーが行われ、会期中2,810人の来場があったことが報告された。

(4)「適正な価格転嫁ご協力をお願い文書」について、原材料価格が高騰しているため値上がり分のコストを適正に価格転嫁することをお客様に理解を求める文書のひな型を作成し、組合員へ提供しているため、各社が必要に応じ使用するよう説明した。

(5)令和6年度の委員会名簿が説明され、今後、各委員会、下期北海道地区印刷協議会が開催されるので、各支部から多数参加いただけるようお願いが行われた。

また、官公需対策の委員会を設置していくことを検討していくこととした。

(6)「中小企業が知っておきたい価格交渉の基礎知識」セミナーが、北海道中小企業団体中央会の主催で11月19日に開催されるので、組合員に案内していることが説明された。

(7)中小企業省力化投資補助金について、今年度新たに創設されたことが説明された。

次に、議事に移り、

(1)令和6年度下期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討を柱として、それぞれの実施事業の内容・実施スケジュールが説明され、決定した。

(2)令和7年度新春経営者研修会について、講師に全印工連常務理事・官公需対策委員会委員長の大風亨氏を招き、官公需対策についてのセミナーを、1月8日、午後2時30分から札幌グランドホテルで開催することを決定した。

(3)令和6年度組合員台帳調査について、現在の提出状況は78.8%であることが説明され、未提出の組



合員18社に対して各支部長の協力をいただき、100%の提出を目指すことを決定した。

(4)組合員との取引について、組合員名簿の印刷発注について、組合員名簿の印刷を全組合員に公募を行ったところ、2社より応札があり、組合員との取引内規により(株)アイワードに発注することを決定した。

(5)集団扱自動車保険について、現在加入者が5社であり、集団条件の10社を下回っていることから、来年6月までに10社にならないと制度が維持できなくなるので、加入に向けて周知を行うこととした。

(6)委員会の活動状況について、各担当委員長から全印工連フォーラムでのそれぞれの委員会討議の内容、委員会の実施事業・スケジュールなどの説明が行われた。

## ▶組織活性化委員会 植平有治委員長

組織活性化委員会は、本来委員は10人くらいであるが、フォーラムには30数名が出席した。組合員台帳の提出状況について各地区から発表があった。北海道は48.8%であったので、これから100%に向けて頑張ると話した。共済の加入促進で北海道は成績が良かったので報奨金10万円が貰える。

## ▶経営革新マーケティング委員会 大和繁樹委員長

フォーラムの委員会はオブザーバーも含めて40人が参加した。4つのテーブルに分かれて、今後、経営革新マーケティング委員会をどのように運営したらよいかのグループディスカッションを行った。

## ▶教育研修委員会 斎藤満生委員長

印刷営業士、DTP技能検定、印カレ動画の周知が行われた。今後、AI学習プログラムを実施予定である。それについてのヒアリング結果にもとづいてディスカッションを行った。

## ▶産業戦略デザイン室 矢吹英俊理事

10年、20年、30年後の印刷業界・世の中はどのようになっているかを予測している。それを踏まえ、今後、印刷業界がイノベーションを起こしていった際に必要になるものを事前に準備しておく取り組みを行っている。

以上で、議事を終了し、各支部の活動状況ならび現況について報告が行われ、理事会を終了した。

# 『生活文化クリエイティブ産業』へ 生まれ変わろう！

2024全印工連フォーラムIN大阪が開催される

2024全印工連フォーラムIN大阪が、9月27日午後1時から、大阪市中央区のスイスホテル南海大阪で、全国から約400人が参加し、「集おう！未来を創りに！」をテーマに開催された。

フォーラムは、全体会議第1部で特別講演・会長メッセージ、各委員会、全体会議第2部、懇親会の4セッションで行われた。

全体会議第1部は、開会挨拶、来賓紹介に続いて、特別講演が、前田泰宏元中小企業庁長官が講師を務め、「もうそこにある未来」をテーマに開催された。



前田泰宏氏

前田氏は、「日本人は総じて自己肯定感が低い。これが産業の衰退に拍車をかけている。これを如何に逆回転させるかであり、組織やマネジメント、雇用の在り方をもう一度確認することが必要である。顧客と常に接している従業員が意思決定を行い経営層は

従業員が能力を発揮するための権限とサポート与える『逆ピラミッド型』が有用である。逆ピラミッド型の可能性、クリエイティブの力、地域の課題解決と収益性を両立するローカルゼブラ企業が、これからの印刷業には非常に参考になる。今後、印刷業を含むあらゆる既存産業が市場縮小に直面することは避けられない。増え続ける地域課題に行政はパンクしており、地域課題をビジネスで解決していく期待感が高まっている。印刷会社が培ってきたあらゆる知的資産、無形資産を洗い出し、印刷製造にとらわれることなく、これからの地域のニーズに応える事業を再構築することが



必要である。あらゆる産業を通じ、地域と自治体をつなぐ力、全国津々浦々に立地し、地域を見るたくさんの目で情報収集する力、デザイン・ライティング・編集などの伝える力、体験価値や精神価値を具現化し感性につなげる力が印刷業にはある。従来の印刷から脱皮・卒業し、その力を使うべきである」と印刷産業へ提言した。

次に、会長メッセージが、「価値協創で拓く未来」をテーマに、瀬田章弘全印工連会長から発信された。

瀬田会長は、「印刷業は年々シュリンクしていて、このままでいくと2030年までに市場が25%縮小する。



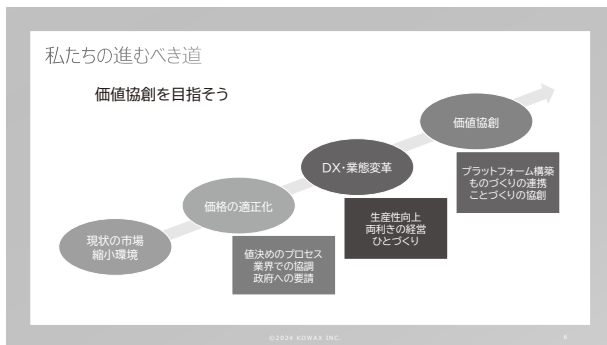
瀬田章弘 氏

しかし、未来は変えられる。不都合な未来は変えればいい。我々は大きな谷の前にいるが、皆で橋を架け渡っていけばいい。1社では難しいが、今日会場に集まった仲間、地元で同志が力を合わせれば橋は架かる。私は多くの仲間と橋を渡りたい。そのためには『価値協創』が必要である。価格の適正化、DX、業態変革の促進に取り組まなければならない。ものづくりの連携、ことづくりの協創が重要である。難しいがそこしか道はない。これから新たに派生する需要として、行政サービスの民間委託などの地域課題解決と観光を中心とするインバウンドがある。中小企業庁では、中小企業が今後伸びる形態としてグローバル型、サプライチェーン型、地域資源型、地域コミュニティ型の4つに分類しているが、多くの印刷業は地域密着であるので、観光・グルメ・自然などの地域資源を活用し高い価値づくりを行う地域資源型、地域の課題解決と暮らしの需要に応えるサービスを提供する地域コミュニティ型の成長を目指すべきである。価値協創型の企業になるためのポイントとして、①知的資産（特に人的資産）、②クリエイ

ターとの連携・協創、③地域でのポジションづくり、④デジタルマーケティングである。これらを実現するサポートとして全印工連では、①ひと（人的資本・異業種との協創=CSR経営）、②もの（設備の共有=DX-PLAT等の活用）、③かね（地域の金融機関との連携=情報提供）、④情報（協創推進のアイデア=全印工連事業）がある。『印刷』は最終的な結果であって、印刷物を作ることが目的でない。我々の本来の力は『結ぶ力』、『伝える力』である。もう一度原点に帰って、この力を極め、地域になくてはならない『生活文化クリエイティブ産業』へと生まれ変わろう。そして我々は『人々の暮らしを彩り幸せを創る産業』としての意識とプライドを持とう」と発信した。

その後、理事長会、産業戦略デザイン室・DX推進・官公需対策・経営革新マーケティング・組織活性化・教育研修の各委員会、全青協各県青年会代表者会議が開催された。

全体会議第2部では、各委員長から事業の進捗状況の説明が行われ、Adobe社から「Firefly」の紹介が行われた。



# 全印工連の学んで得するTV「印カレ」のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、組合員が無料で視聴できる「全印工連の学んで得するTV『印カレ』」をホームページに掲載している。

現在、DTPデザイン、Techイノベーション、営業、マーケティング、経営、パートナーの6部門で117本が掲載されている。

印カレURL

<https://printing-college.com>

## 1 新着動画

- ①印刷会社のWeb戦略 Part2 (完結編)
- ②異業種コラボは可能性がいっぱい!
- ③Mr. Fの『音声合成、読み上げ』って何?
- ④創発型経営の実践 第一部 講演
- ⑤創発型経営の実践 第二部 対談
- ⑥本業を拓げる事業戦略セミナー
- ⑦全印工連生命共済制度「ライフピア」PR動画(2024年度版)
- ⑧これからの印刷業のあり方
- ⑨クリエイティブワークをもう少しだけ深掘りしておきたい方のための“私が現場で学んできた”クリエイティブワークの基本アプローチ
- ⑩DX-PLATの目的と導入企業の声とDX-PLATによる未来展望
- ⑪DX-PLATの画面を使った受発注の流れ解説
- ⑫自社ホームページで売上を伸ばす Part1 (基礎編)
- ⑬自社ホームページで売上を伸ばす Part2 (構築編)
- ⑭自社ホームページで売上を伸ばす Part3 (集客編)
- ⑮自社ホームページで売上を伸ばす Part4 (分析編)
- ⑯「Adobe Character Animator」って何?
- ⑰カレンダーができるまで
- ⑱5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ 第12回 M&Aにおける制度の活用
- ⑲東印工組オリジナルMIS「BRAIN」操作マニュアル動画 第1回「受注業務」
- ⑳東印工組オリジナルMIS「BRAIN」操作マニュアル動画 第2回「発注業務」
- ㉑東印工組オリジナルMIS「BRAIN」操作マニュアル動画 第3回「仕入業務」
- ㉒東印工組オリジナルMIS「BRAIN」操作マニュアル動画 第4回「売上業務」
- ㉓東印工組オリジナルMIS「BRAIN」操作マニュアル動画 第5回「請求業務」
- ㉔東印工組オリジナルMIS「BRAIN」操作マニュアル動画 第6回「支払・入金業務」
- ㉕東印工組オリジナルMIS「BRAIN」操作マニュアル動画 第7回「損益管理」
- ㉖本業から起こす利益イノベーションセミナー
- ㉗印刷会社のweb戦略 (前編)
- ㉘印刷会社のweb戦略 (後編)
- ㉙全印工連CSR認定制度 対外広報ムービー
- ㉚全印工連ダイバーシティ推進部会セミナー「すごい人材活用!!」
- ㉛「顧客志向のDX ~デジタルマーケティング時代における印刷会社の新たな役割~」セミナー

## 2 DTPデザイン

- ①「SP-MULTI」説明会
- ②MIS「BRAIN」操作説明 (概要編)
- ③10分で身につく! DTP超時短テクニック【Illustrator】アピアランスを使いこなす

- ④10分で身につく! DTP超時短テクニック②【Illustrator】マスク機能を使いこなす
- ⑤10分で身につく! DTP超時短テクニック③【Photoshop】画像の非破壊編集
- ⑥10分で身につく! DTP超時短テクニック④【InDesign】スタイル機能を使いこなす
- ⑦10分で身につく! DTP超時短テクニック⑤ 2022年度版CC最新情報
- ⑧Adobe CC これだけは使わないともったいないオンラインセミナー

## 3 Techイノベーション

- ①印刷機中心のカラーマネジメントシステム維持管理 Part3『印刷物 刷り出し基準』
- ②印刷機中心のカラーマネジメントシステム維持管理 Part4『本刷り管理』
- ③印刷虎の巻「ドットゲインを制すは印刷を制す!」原因・対策編 壹の巻: 過剰乳化に注意せよ!
- ④印刷虎の巻「ドットゲインを制すは印刷を制す!」原因・対策編 二の巻: 胴仕立て不良①
- ⑤印刷虎の巻「ドットゲインを制すは印刷を制す!」原因・対策編 三の巻: 胴仕立て不良②
- ⑥印刷虎の巻「ドットゲインを制すは印刷を制す!」原因・対策編 四の巻: 胴仕立て不良③
- ⑦印刷虎の巻「ドットゲインを制すは印刷を制す!」原因・対策編 五の巻: インキ盛りすぎ
- ⑧印刷機中心のカラーマネジメントシステム維持管理 Part1『色変動を誘発する因子の排除』
- ⑨印刷機中心のカラーマネジメントシステム維持管理 Part2『標準化ステップ』
- ⑩インキのジャスト・イン・タイム ~必要なインキを必要な時に必要な量だけ~
- ⑪レインボー印刷 挑戦してみた!

## 4 営業

- ①知っておくとためになる!印刷営業「雑学講座」1
- ②知っておくとためになる!印刷営業「雑学講座」2
- ③原油価格高騰等対応支援事業セミナー1〔前半〕
- ④原油価格高騰等対応支援事業セミナー2〔後半〕
- ⑤Web制作見積りの一般的なルール
- ⑥印刷営業士の試験が新しくなった件

## 5 マーケティング

- ①“作る”ことに思いを馳せる2社の取り組み
- ②地元ネットワーク×PODメーカーで仕事創出セミナー
- ③売れるパッケージデザインの極意
- ④実は今、印刷会社に大きなビジネスチャンスが来ること知ってますか?
- ⑤攻めのデジタル化を徹底解説

- ⑥マーケティング入門 1
- ⑦マーケティング入門 2

## 6 経営

- ④5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第1回「全印工連 事業承継支援センター」のご紹介
- ②5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第2回 事業承継の考え方（あらゆるパターンを考える）
- ③5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第3回 M&Aの概要
- ④5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第4回 親族内承継の基本（株価上昇と納税資金）
- ⑤5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第5回 M&Aの進め方（譲渡側）
- ⑥5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第6回 親族内承継の具体的な手法（譲渡・贈与）
- ⑦5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第7回 M&Aの進め方（譲受・買手側）
- ⑧5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第8回 ホールディングスの本質とは（親族内・MBO）
- ⑨5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第9回 M&Aにおける価格の考え方
- ⑩5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第10回 事業承継税制（納税猶予）の裏表
- ⑪5分で分かる「事業承継・M&A」シリーズ  
第11回 M&Aにおける制度の活用
- ⑫価値創造で持続的発展企業へ！全印工連CSR認定制度  
ツースター認定・スリースター認定取得への道
- ⑬2022全印工連フォーラム 全体会議1
- ⑭2022全印工連フォーラム 全体会議2
- ⑮2022全印工連フォーラム 全体会議3
- ⑯全印工連CSRサミット 分科会1
- ⑰全印工連CSRサミット 分科会2
- ⑱全印工連CSRサミット パネルディスカッション
- ⑲全印工連CSRサミット 基調講演
- ⑳全印工連CSRシンポジウム「SDGsの視点からみた調達の将来像」基調講演（シンポジウム前半）
- ㉑全印工連CSRシンポジウム「SDGsの視点からみた調達の将来像」パネルディスカッション（後半）
- ㉒全国青年印刷人協議会 デザイン思考
- ㉓「超☆ドンブリ経営のすすめ」を独自解説！  
決算書が読めなくても大丈夫！
- ㉔「いまさら聞けない」化学物質のリスクアセスメントセミナー
- ㉕INSATSU未来トランスフォーメーションセミナー  
（神奈川県印刷工業組合Zoomセミナー）

- ㉖15分でわかる管理会計 MQ会計を理解する
- ㉗INSATSU未来トランスフォーメーション
- ㉘オンラインセミナー「見える化」「情報の共有化」に  
取り組む企業のオンラインパネルディスカッション
- ㉙福永紙工と篠原紙工の考える「デザインと経営」セミナー
- ㉚幸せな働き方改革2
- ㉛幸せな働き方改革3
- ㉜幸せな働き方改革4
- ㉝幸せな働き方改革5

## 7 ITテクノロジー

- ①【クラウドサービス】9割以上の人が知らないクラウドの基礎知識を10分で解説
- ②webサイトが動く仕組みを10分で解説
- ③【10分でわかる!】webサーバーの仕組み
- ④【10分でわかる!】人類の未来を変えるテクノロジー ブロックチェーンのやさしい教科書
- ⑤【webサイトの基礎】99%の人が知らない基本を10分で解説
- ⑥【初心者向け】プログラミングができるようになるための勉強法

## 8 パートナー

- ①今から始める!映像編集の実践テクニック
- ②平成生まれ!印刷会社の若手が集い語る『私たちの未来』と今のホンネ  
(HP「Tech & Device TV」2020年1月30日放映)
- ③官公需における著作権取り扱いの現状と課題報告会
- ④幸せな働き方改革 ステップ

## 9 その他

- ①利益を上げるなら、社員を育てろ!
- ②Adobe Creative Cloud 全印工連特別ライセンスプログラムのご案内
- ③「なぜ、今、メディア・ユニバーサルデザインが必要か?」
- ④技能検定プリプレス職種（DTP作業）が収益UPに効く件
- ⑤全印工連特別ライセンスプログラム テクニカルセミナー特別編
- ⑥印刷営業講座・印刷営業士技能審査認定制度のご紹介
- ⑦デジタル×紙×マーケティング データから読み解く販売促進事例
- ⑧ 決算書の読み方と月次決算
- ⑨ランチェスター経営セミナー

「全印工連」の学んで  
得するTV  
イン 印刷  
Printing College

情報を集め、情報を届け、  
大々の暮らしを彩る。  
それが **Printing** の使命

全日本印刷工業組合連合会

# 第18回メディア・ユニバーサルデザイン コンペティション作品募集

応募締切  
迫る!!

全日本印刷工業組合連合会は、  
「第18回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催する。

全日本印刷工業組合連合会は、各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責任を果たすためのコンプライアンス活動が求められていることを踏まえ、「すべての人に優しく、誰もが快適に利用できること」を目的として、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) 活動」に取り組んでいる。

この取り組みをより強固なものにするために、今年も「第18回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催し、高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対し、見やすさ・伝わりやすさに配慮したアイデアに富んだ作品を募集している。

応募期間	2024年9月2日(月)～12月6日(金)
募集作品	高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対して、見やすさ・伝わりやすさに配慮したデザイン手法を用いて制作されたもの。 (例) カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・ラベル・カードゲームなど
募集部門	①グラフィックテクニック (DTP) 文字、組版、図表、イラスト、色使いなどを工夫した作品 ②商品企画 種別、分野は自由でMUDを使用したオリジナル作品 ③製本、加工技術 折、製本、形態など後加工で使いやすさに工夫をした作品 ※自社制作の成果物として既に流通している製品でも応募可能。 ※既成の自社作品について、MUDに配慮し再制作した“before and after”の作品でも構わない。 ※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への抵触に注意すること。
応募資格	[一般の部] プロ・アマを問わず、どなたでも応募可能 [学生の部] 大学・短期大学・専門学校・高等学校に在学している学生・生徒
応募対象作品	2023年7月以降に制作されたもの
応募方法	作品1点とデータ1点 (ai/eps/jpeg/pdfのいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの) を、出品申込書とともに送付する。 データはギガファイル便等のファイル転送サービスを利用のうえ、メールにて提出する。 ※受賞作品に選ばれた場合、提出されたデータをもとに受賞作品集の制作を行う。
出品料	応募作品1点につき、一般の部：3,300円／学生の部：無料
作品応募先 問い合わせ先	全日本印刷工業組合連合会「第18回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション係」 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4階 【電話】03-3552-4571 【FAX】03-3552-7727 【E-mail】mud-competition@aj-pia.or.jp

# 「ミニさっぽろ2024」に出展

まちの印刷屋さんを、多くの小学生が体験

小学生が、仮想のまち「ミニさっぽろ市」の市民となり、さまざまな仕事を体験する「こどものまちミニさっぽろ2024」が、札幌市ほかの6団体で構成するミニさっぽろ実行委員会の主催で、10月5日・6日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催された。

この催しは、小学校3年生と4年生を対象に、働いて給料をもらい税金を納める社会の仕組みを学ぶことを目的に開催された。

今年は、56の企業・団体から、いろいろな業種のブースが設けられた。

北海道印刷工業組合は、札幌商工会議所情報部会と共催で、株式会社正文舎の協力のもと「まちの印刷屋さん」のブースを出展した。

実際に印刷会社の仕事を学んでもらうため、参加者はそれぞれオリジナルのメッセージカードをデザインし、印刷して、裁断までを体験した。

印刷ブースは大変好評を博し、多くの小学生が印刷会社の仕事を体験した。



## 北海道印刷関連業協議会 令和7年新年交礼会のご案内

北海道印刷関連業協議会の令和7年新年交礼会が下記により開催される。

新年交礼会は、令和7年の新春に鑑み、印刷業界ならびに関連業界の皆さんが一堂に集い、参加者が活発に交流・賀詞交換等が行えるよう運営される。

記

日時	令和7年1月8日（水） 午後5時
会場	札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）
会費	13,000円

北海道印刷工業組合

### メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<https://www.print.or.jp>



# 中小企業省力化投資補助金のご案内

中小企業等のみなさまの売上拡大や生産性向上、さらには賃上げを後押しするため、IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある「省力化製品」の導入を支援いたします。

## ● 補助対象となる事業

人手不足の中小企業などが、省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むものを対象とします。

## ● 補助対象経費

カタログに掲載された省力化製品の本体価格等

## ● 補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	補助事業実施期間に一定以上の賃上げを達成した場合
5名以下	1/2 以下	200万円	300万円に引き上げ
6～20名		500万円	750万円に引き上げ
21名以上		1,000万円	1,500万円に引き上げ

※各申請の補助額の合計が補助上限額に達するまでの間は、複数回の申請が可能です。

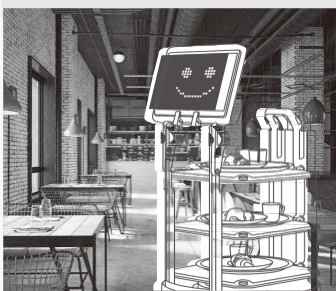
補助上限額の引き上げを適用する場合、事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ、②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります。

## ● 補助対象製品のカテゴリ

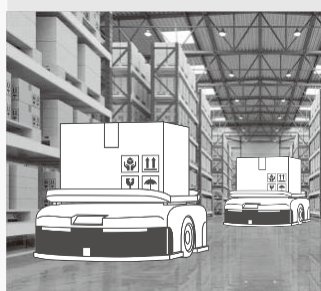
- ▶ 清掃ロボット
- ▶ 測量機
- ▶ 配膳ロボット
- ▶ 丁合機
- ▶ 自動倉庫
- ▶ 印刷用紙高積装置
- ▶ 検品・仕分システム
- ▶ インキ自動計量装置
- ▶ 無人搬送車 (AGV・AMR)
- ▶ 段ボール製箱機
- ▶ スチームコンベクションオープン
- ▶ 近赤外線センサ式プラスチック材質選別機
- ▶ 券売機
- ▶ デジタル加飾機
- ▶ 自動チェックイン機
- ▶ 印刷紙面検査装置
- ▶ 自動精算機
- ▶ タブレット型給油許可システム
- ▶ 鋳物用自動バリ取り装置
- ▶ オートラベラー
- ▶ 自動調色システム
- ▶ 飲料補充ロボット
- ▶ 蛍光X線膜厚測定器
- ▶ デジタル紙面色校正装置
- ▶ 自動裁断機 など

## 業種ごとの活用イメージ

飲食サービス業 × 配膳ロボット



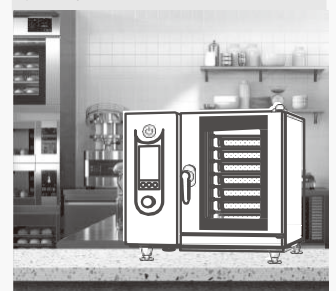
製造業 × 無人搬送車



小売業 × 自動精算機



宿泊業 × スチームコンベクションオープン



随時申請受付中

本補助金の詳細やカタログ、公募要領などはこちらから

中小企業省力化投資補助事業ホームページ

<https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



お問い合わせは、本事業コールセンターまで

ナビダイヤル

**0570-099-660**

受付時間: 9:30~17:30 / 月曜~金曜(土・日・祝日除く)

省力化製品に関わる

工業会・製造事業者・販売事業者のみなさま

カタログ登録  
サポートセンター

**03-6746-1530**

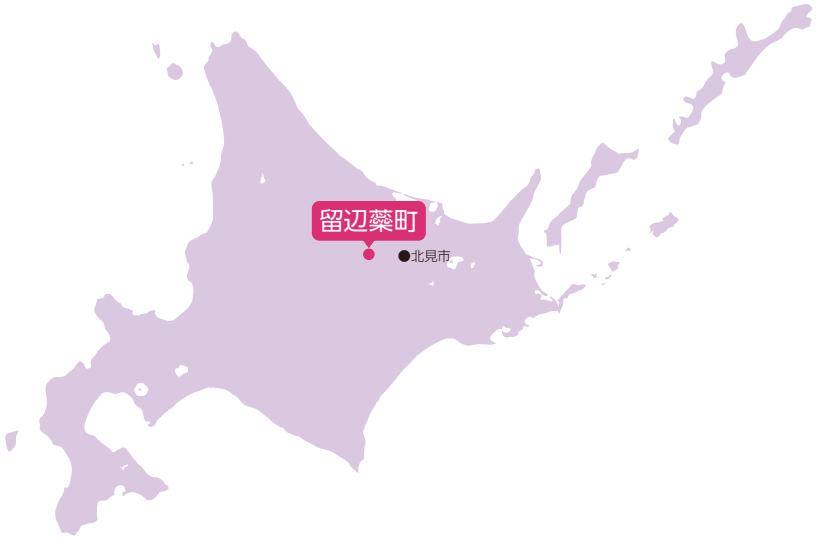
でご相談受付中!

北海道中小企業団体中央会 に 省力化補助金事務局 を設けていますので、お気軽にご相談ください。



北海道の難読地名  
**留辺蘂**  
 難読レベル  
 ★★★★★

北の大地の水族館・滝つぼ水槽（北見市留辺蘂町）



表紙の解説
<b>留辺蘂（るべしべ）—北見市留辺蘂町</b>
由来は、アイヌ語のルベシペ。 「道・に沿って下る・もの（川）」
参考資料：北海道「アイヌ語地名リスト」 <a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ass/new_timeilist.html</a>

難読レベル	
★☆☆☆☆	道外の方でも読める
★★★★☆	道民のほとんどが読める
★★★★☆	道民の半分くらいが読める
★★★★☆	道民でもほとんど読めない
★★★★★	地域住民以外は読めない

※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。